



第175号

(昭和52年 8月・9月)

目次

関係法令 1

学内規則 1

 富山大学教育学部規則の一部改正 1

 富山大学工学部規則の一部改正 3

 富山大学立山研究室規則の制定 7

 富山大学附属図書館文献複写規則の一部改正 8

諸会議 11

人事異動 11

学内諸報 12

 工学部長の再選 12

 昭和52年度文部省内地研究員 12

 海外渡航者 12

 学位取得者 12

 学内レクリエーション 12

 R連盟富山地区大会 13

訃報 13

 叙位・叙勲 13

職員消息 13

主要日誌 13

関係法令

(官報掲
載月日)

政令

○所得税法施行令の一部を改正する政令(269) 9・20

省令

○国家公務員共済組合法施行規則の一部を改正する省令(大蔵36) 8・20

○昭和42年度以後における国家公務員共済組合等からの年金の額の改定に関する法律第1条の6に規定する仮定俸給の額等を定める省令の一部を改正する省令(同37) 8・20

○学校教員統計調査規則の一部を改正する省令(文部31) 9・14

規則

○特殊勤務手当の一部を改正する規則(人事院9-30) 9・1

○俸給の調整額の一部を改正する規則(同9-6) 9・9

○初任給、昇格、昇給等の基準の一部を改正する規則(同9-8) 9・9

○管理職員等の範囲の一部を改正する規則(同17-0) 9・20

告示

○文部省共済組合運営規則の一部を改正する件(文部181) 9・19

学内規則

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和52年 9月30日

富山大学長 林 勝次

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則(昭和27年 4月18日制定)の一部を次のように改正する。

第14条中、「中学校」の次に「養護学校」を加える。

第16条中、「(4)所属長許可書(在職者に限る。)」の次に「(5)最終出身学校の単位取得証明書」を加える。

別表II(イ) 教職科目の表中

教育学	教育原理	4	4		4		4	4	4	を
	教育課程	2		2		2				
	学習指導	4		4		2				
	生活指導(進路)	2		2		2				
教育学	教育原理	4	4		4		4	4	4	に、
	教育課程	2		2		2				
	学習指導	4		4		2				
	生活指導	2		2		2				
	教育工学	2		2		2				
教育制度	教育行政	2		2	6	2	2			を
	学校保健	2		2		2				
教育制度	教育行政	2		2	6	2	2			に、
	教育経営	2		2		2				
教育社会学	教育社会学	4		4		2				を
	社会教育	2								
	図書館学	4		4						
教育社会学	教育社会学	4		4		2				に、
	教育調査	2		2		2				
	社会教育	2								
	図書館学	4		4						
計		122	30	6	16	2	26	16	12	を
計		126	30	6	16	2	26	16	12	に改める。

別表III 教育学専攻の表中

教育学	教育原理	4	4		を
	教育学演習	4		1	
	教育課程	2			
	教育方法概説	2			
	学習指導	4			
	生活指導	2			
	視聴覚教育	2			
	教育学特別講義	4			

教育学	教育原理	4	4	
	教育学演習	4		1
	教育課程	2		
	学習指導	4		
	生活指導	2		
	視聴覚教育	2		
	教育工学	2		
	教育学特別講義	4		

に、

教育社会学	教育社会学	4		
	社会教育	2		
	図書館学	4		

を

教育社会学	教育社会学	4		
	教育調査	2		
	社会教育	2		
	図書館学	4		

に、

計	95	30	16	
		46		

を

計	97	30	16	
		46		

に改める。

別表Ⅷ 教育専攻科開設授業科目及び単位の表中

社会教育特論	2		2
--------	---	--	---

を

社会教育特論	2		2
精薄児教育学特論	2		2

に改める。

附 則

この規則は、昭和52年10月1日から施行する。

ただし、昭和51年度以前の専門教育課程移行者は、別表II(i)の改正にかかわらず、なお従前の例による。

富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和52年9月30日

富山大学長 林 勝次

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則（昭和25年12月15日制定）の一部を次のように改正する。

別表 電気工学科の表中

「電気機器設計学 2」を「電気機器学第4 2」に、
 「電動機制御工学 2」を「電気機器設計学 2」に、
 「金属工学概論 3」を「金属工学概論 2」に改める。

別表中工業化学科の表を次のように改める。

工業化学科

授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数
専攻科目		関連科目	
燃料工学第1	2	電気工学概論	3
燃料工学第2	2	機械工学概論	3
石油化学	2	金属工学概論	2
油脂工業化学	2	応用数学	4
繊維工業化学	2	応用物理学	4
品質管理	2	工業英語	2
有機合成化学	4		
高分子化学	4		
有機化学第1	4		
有機化学第2	2		
電気化学	4		
反応速度論	4		
無機化学	4		
表面処理	1		
物理化学	4		
触媒化学第1	2		
触媒化学第2	2		
応用コロイド化学	4		
化学工学概論	2		
固体化学	1		
環境化学	4		
水処理論	2		
環境総論	2		
分析化学	2		
有機機器分析化学	2		
安全工学概論	2		
工業化学設計製図	2		
○有機工業化学実験	2		
○有機合成化学実験	2		
○無機工業化学実験	2		
○工業物理化学実験	2		
○分析化学実験	2		

工業化学特論		
工業化学輪読	2	
○卒業論文	12	

備考 1 工業化学特論の単位数は、必要に応じて定める。

2 ○印は、必修科目

別表中金属工学科の表を次のように改める。

金属工学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		関連科目	
応用数学第1	4	無機化学	4
応用数学第2	2	分析化学	2
応用物理学	4	電気工学概論	3
材料力学	4	工業化学概論	3
金属組織学	4	機械工学概論	3
鉄鋼材料学第1	3	品質管理	2
鉄鋼材料学第2	2	自動制御	2
金属物理学	1	工業英語	2
放射線工学	1	工業ドイツ語	2
金属加工学第1	2		
金属加工学第2	2		
金属加工学第3	2		
金属加工学第4	2		
非鉄金属材料学第1	1		
非鉄金属材料学第2	2		
非鉄鑄造学	2		
鉄鋼鑄造学	4		
物理化学	2		
冶金物理化学第1	4		
冶金物理化学第2	2		
鉄冶金学第1	2		
鉄冶金学第2	2		
鉄冶金学第3	2		
非鉄冶金学第1	2		
非鉄冶金学第2	2		
非鉄冶金学第3	2		
非鉄冶金学第4	2		
電気製鉄及び製鋼	2		
電気冶金学	2		
金属工学概論	2		
材料試験法	2		
機械工作法大意	2		

金属工学特論			
機械設計製図	2		
○物理冶金学実験	1		
○金属加工学実験	2		
○鉄冶金学実験	1		
○非鉄冶金学実験	1		
○冶金分析実験	1		
材料試験実習	1		
機械実習	1		
○卒業論文	10		

備考 1 金属工学特論の単位数は、必要に応じて定める。

2 ○印は、必修科目

別表中機械工学科の表を次のように改める。

機 械 工 学 科

授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数
専攻科目		関連科目	
応用数学第1	4	応用数学特論	2
応用数学第2	2	応用物理学	4
計画数学	4	電子計算機	2
工業力学	4	電子工学	2
材料力学第1	4	電気工学概論	3
材料力学第2	4	安全工学概論	2
塑性力学	4	図学	2
機械力学第1	4	工業英語	2
機械力学第2	2	工業ドイツ語	2
機構学	4		
水力学	4		
流体力学	4		
流体機械	4		
油圧機械	2		
工業熱力学	4		
伝熱工学第1	2		
伝熱工学第2	2		
蒸気ボイラ	2		
蒸気原動機	2		
内燃機関工学第1	4		
内燃機関工学第2	2		
潤滑工学第1	2		
潤滑工学第2	2		
材料工学	4		
機械工作法	4		
工作機械	4		

計測工学	2		
機械設計学	4		
機械工学特論			
○機械工学設計製図第1	2		
○機械工学設計製図第2	5		
○機械工学設計製図第3	2		
○機械工学実験	4		
○機械工学実習	2		
○卒業論文	10		

備考 1 機械工学特論の単位数は、必要に応じて定める。

2 ○印は、必修科目

別表 生産機械工学科の表中

「 応用数学第1	4	」を削り、			
「 応用数学第2	2	」			
「 切削加工学	4	」の前に「	応用数学第1	4	」を、
			応用数学第2	2	」
「 材料試験法	2	」の次に「	潤滑工学第1	2	」を、
			潤滑工学第2	2	」
「 工業英語	2	」の次に「	工業ドイツ語	2	」を加える。
			工業ロシア語	2	」

別表 化学工学科の表中

「 応用触媒化学	3	」を「 触媒化学	2	」に、
「 水処理論	1	」を「 水処理論	2	」に、
「 金属工学概論	1	」を「 金属工学概論	2	」に改める。

別表 電子工学科の表の備考3中「電気機器設計学、電動機制御工学、」を「電気機器学第4、電気機器設計学、」に改める。

附 則

- 1 この規則は、昭和52年10月1日から施行する。
- 2 昭和51年度以前の専門教育課程移行者については、なお従前の例による。

富山大学立山研究室規則の制定

富山大学立山研究室規則を次のとおり制定する。

昭和52年9月30日

富山大学長 林 勝次

富山大学立山研究室規則

(設置)

第1条 富山大学理学部に、立山研究室（以下「研究室」という。所在地富山県中新川郡立山町大字声岬寺字ブナ坂浄土山頂）を置く。

(目的)

第2条 研究室は、立山山岳地帯における自然科学的研究を行うことを目的とする。

(職員)

第3条 研究室に、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) 室長
- (2) その他必要な職員

2 室長は、理学部の教授のうちから第4条に定める委員会の推薦に基づき、理学部長が命ずる。

3 室長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 室長は、研究室を運営し、その業務を総括する。

(運営委員会)

第4条 研究室の運営に関する基本的事項を審議するため、立山研究室運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(委員会の審議事項)

第5条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

(1) 研究室の運営に関する事項

(2) 室長の推薦に関する事

(3) その他研究室に関する重要事項

(委員会の組織)

第6条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

(1) 室長

(2) 理学部教授会で選出された教官若干名

(3) 人文学部・理学部事務長

2 前項第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第7条 委員会に委員長を置き、室長をもつてこれに充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長の指名した委員がその職務を代行する。

(委員会の議事)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席により成立し、議事は出席委員の過半数をもつて決する。ただし、可否同数のときは議長がこれを決する。

(意見の聴取)

第9条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、その意見を聞くことができる。

(研究室の使用)

第10条 研究室の使用に関し必要な事項は、委員会の議を経て室長が定める。

(庶務)

第11条 研究室及び委員会の庶務は、人文学部・理学部経理係において処理する。

(雑則)

第12条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、委員会の議を経て室長が定める。

附 則

1 この規則は、昭和52年9月30日から実施する。

2 富山大学立山研究室規程(昭和26年9月7日制定)及び富山大学立山研究室管理細則(昭和26年9月7日制定)は、廃止する。

富山大学附属図書館文献複写規則の一部改正

富山大学附属図書館文献複写規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和52年8月8日

富山大学長 林 勝次

富山大学附属図書館文献複写規則の一部を改正する規則

富山大学附属図書館文献複写規則(昭和42年8月17日制定)の一部を次のように改定する。

(別紙様式)

文献複写申込書

受付No.

申 込 者	所属職名	TEL	所蔵箇所	<input type="checkbox"/> 本館 <input type="checkbox"/> 分室 <input type="checkbox"/> 分館			館長			
	住所	TEL	作成種別	<input type="checkbox"/> ネガ <input type="checkbox"/> 引伸 <input type="checkbox"/> 反転 <input type="checkbox"/> 電子判部						
	氏名		経費区分	学内	学外	国費	科学研究費	私費	事務長	
書(巻号、及び、著者名、写標個)所	上記のとおり申込みます。 なお、複写を依頼する文献の著作権に関する一切の責任は、当方で負うことを誓約します。 昭和 年 月 日 富山大学附属図書館長殿 申込者 印			複写料金	受付引渡	年	月	日	閲覧係長	総務係長
				種別	数量	単価	金額			
	フィルム	基本料金	件	円	円	係員				
		撮影料	コマ							
	映画引伸	A	5	枚						
		B	5	枚						
		A	4	枚						
		B	4	枚						
	電子複写									
	通信費・送料									
容器代										
合計				円						
複写担当者氏名印										

を

文献複写申込書

大学附属図書館長 殿

下記のとおり申込みます

この申込による著作権に関する一切の責任は申込者が負います。

検印	
----	--

申込機関	機関名		電話		複写方法	電子複写フィルム(ネガ) 引伸()フィッシュ		
	所在地				支払区分	学内	学外	私費
申込者	支出官		担当者		料 金 計 算			
	氏名		所属身分		種 別	数 量	単 価 (A)	金額(円)
誌名・巻号・年・頁・著者・論題・書名・その他	住所		電話		電子複写	枚		
	フィルム	基本料	件		引伸	キャビネ	枚	
		ネガ				A 5		
	ポジ	特殊撮影料			B 5			
		フィッシュ	枚		A 4			
	容器代	個		B 4				
	リーダープリンター							
	通信費							
	送料							
	合計							

典拠：學術雑誌総合目録		文献所在		謝絶		所蔵なし 参照不完 實出中他 製本の その他		複写不能 (誌名・巻号・年・頁・著者・論題・版) (再申込のこと) (再申込のこと) (再申込のこと)					
申込	No.	照会	発返	年月日	年月日	料請求	No.	料金領収	No.	仕上り	年月日	製品引渡し	年月日

に改める。
(別表)

文献複写料金表

種 別	単 位	料 金		備 考	
		学内者	学外者		
マイクロフィルム 方 式	基本料	1 件	100円	100円	古記録類等特に手数を要するものについては特殊撮影料1コマにつき10円加算する。
	ネガフィルム	1 コマ	15円	20円	
印 画 引 伸	A 5	1 枚	50円	60円	複写用印画紙による。
	B 5	1 枚	80円	90円	
	A 4	1 枚	100円	110円	
	B 4	1 枚	150円	170円	
電子複写方式	B 4 以下	1 枚	40円	45円	

を

文献複写料金表

種 別	単 位	料 金		備 考	
		学内者	学外者		
マイクロフィルム 方 式	基本料	1 件	100円	100円	古記録類等特に手数を要するものについては特殊撮影料1コマにつき10円加算する。
	ネガフィルム	1 コマ	15円	20円	
印 画 引 伸	A 5	1 枚	50円	60円	複写用印画紙による。
	B 5	1 枚	80円	90円	
	A 4	1 枚	100円	110円	
	B 4	1 枚	150円	170円	
	リーダープリンタ	1 枚	40円	45円	
電子複写方式	B 4 以下	1 枚	40円	45円	

に改める。

附 則 (昭和52年8月8日改正)

この規則は昭和52年10月1日から施行する。

諸 会 議

昭和52年度第7回評議会（9月30日）

〔報告事項〕

- (1) 昭和53年度富山大学大学院工学研究科（修士課程）
入学試験合格者の判定について
- (2) 昭和53年度富山大学大学院工学研究科（修士課程）
推せん入学者の選考について
- (3) 富山大学学生水泳事故について

〔審議事項〕

- (1) 人文学部、理学部設置祝賀式について
- (2) 富山大学立山研究室規則の制定について
- (3) 富山大学教育学部規則の一部改正について
- (4) 富山大学教育学部教授会規則の一部改正について
- (5) 富山大学工学部規則の一部改正について
- (6) 教官人事について
- (7) 教養部教官定員問題について
- (8) 昭和52年9月卒業の認定について
- (9) 昭和54年度富山大学入学者選抜方法等について

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	発令前の所属官職	異 動 内 容	発 令 者
採用	52. 8. 1	渡 辺 一 郎		助教授（教育学部）	文 部 大 臣
	52. 9. 1	山 下 三 郎		講 師（ " ）	富山大学長
	"	有 澤 伸 子		事務補佐員（工学部）	"
	"	長 澤 哲 郎		文部技官（和漢薬研究所）	"
昇任	52. 9. 1	藤 本 正 文	講師（経営短期大学部）	助教授（経営短期大学部）	文 部 大 臣
	"	松 下 義 春	文部事務官（経理部主計課）	経理部主計課管財係管財主任	富山大学長
	"	今 井 稔	"（人文学部・理学部）	人文学部・理学部経理係経理主任	"
	"	三 井 進	"（ " ）	人文学部・理学部学務係学生主任	"
	"	能 登 功	"（教育学部）	教育学部庶務係庶務主任	"
	"	渡 辺 登美枝	"（ " ）	教育学部学務係学生主任	"
	"	奥 田 雅 子	"（経済学部）	経済学部庶務係庶務主任	"
	"	柴 田 富美枝	"（ " ）	経済学部会計係会計主任	"
	"	高 瀬 邦 弘	"（人文学部・理学部）	教養部庶務係庶務主任	"
	"	林 征 紀	人文学部・理学部経理係経理主任	文部省体育局スポーツ課登山研修所庶務係長	文 部 大 臣
転任	52. 9. 1	田 中 祥 男	文部省体育局スポーツ課登山研修所庶務係長	人文学部・理学部用度係長	富山大学長
配置換	52. 9. 1	清 水 麗 子	文部事務官（教育学部）	文部事務官（庶務部庶務課）	富山大学長
	"	牧 野 秀 應	"（経理部経理課）	"（経理部主計課）	"
	"	伊 野 不 二 夫	"（教養部）	"（人文学部・理学部）	"
	"	高 尾 貢	"（庶務部庶務課）	"（教育学部）	"
併任	52. 8. 1	野 崎 富 作	教授（経済学部）	評議員（期間52. 8. 1～53. 4. 1）	文 部 大 臣
	"	山 崎 佳 夫	"（ " ）	"（期間52. 8. 1～54. 7. 31）	"
	52. 9. 1	新 村 栄 子	事務補佐員（経理部主計課）	事務補佐員（経理部経理課）	富山大学長
事務取扱	52. 9. 1	川 原 富 雄	人文学部・理学部事務長補佐	人文学部・理学部用度係長事務取扱免	文 部 大 臣
休職	52. 9. 11	宮 越 一 男	学生部厚生課厚生係長	休職（期間52. 9. 11～53. 2. 28）	富山大学長

学内諸報

工学部長の再選

室町繁雄工学部長の任期が昭和52年9月30日に満了することに伴う次期学部長候補者の選考は、8月31日開催の工

学部教授会で行われ、現職の室町教授が選出された。

室町教授は、昭和13年3月旅順工科大学冶金科を卒業、同26年11月富山大学教授となり、同29年1月から30年5月まで及び44年6月から評議員を歴任し、昭和44年10月以降引き続き工学部長の職にある。

専門は金属加工学、工学博士、茨城県出身

昭和52年度文部省内地研究員（第2次）

氏名	所属	官職	研究機関	研究題目	期間
小松和生	経済学部	助教授	大阪市立大学	日本資本主義の発展と権力構造	52. 9. 1
中村哲夫	教養部	講師	大阪外国語大学	中国の方言と地域社会の基礎構造の研究	}
藤本正文	経営短期大学部	助教授	東京教育大学	文体論	53. 2. 28

海外渡航者

氏名	所属	官職	渡航の種類	渡航先国	目的	期間
鎌田元一	人文学部	講師	海外研修旅行	韓国	朝鮮古代遺跡の研究	52. 8. 3 } 52. 8. 11
香川孝三	経済学部	助教授	外国出張	インド	インドにおける日系企業の労働事情視察	52. 8. 6 } 52. 8. 29
中川正之	理学部	教授	外国出張	アメリカ、カナダ、オーストリア、スイス、イタリア、フランス	高速雪崩の研究 雪氷学の研究	52. 8. 24 } 52. 9. 23
坂井純一	工学部	助教授	外国出張	ソ連	レベデフ物理学研究所で太陽フレアの引き金機構についての共同研究	52. 9. 1 } 53. 6. 30

学位取得者

取得者 工学部 助手 上羽 弘
 取得学位 理学博士（名古屋大学）
 取得年月日 昭和52年8月2日
 学位論文 Theory of Surface Excitons in
 Molecular Crystals

取得者 工学部 助教授 高辻 雄三
 取得学位 工学博士（東京工業大学）
 取得年月日 昭和52年9月30日
 学位論文 Al-Si系鋳造合金の被削性に関する研究

学内レクリエーション

▶カマス釣大会
 実施月日 9月4日（日） 午前6時
 場所 氷見沖
 入賞 優勝 保正 邦久（学生部）
 次勝 栗山 政彦（和漢薬研究所）
 三位 五十嵐靖夫（ " ）
 四位 榎本 三郎（薬学部）

R連盟富山地区大会

▶ソフトボール大会

実施月日 9月21日(水) 午前8時30分

場 所 富山県軟式球場

成 績 優勝 富山刑務所

次 勝 富山財務部

三 位 富山大学B

” 富山営林署

計 報

工学部教授 山田正夫氏逝去

工学部教授山田正夫氏は、心疾患のため8月13日逝去されました。

享年53才

ここに御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

山田教授は、昭和21年9月京都帝国大学工学部冶金学科卒業、同22年4月高岡工業専門学校講師として着任、同26年3月富山大学助教授、同46年5月同教授に昇任、この間金属工学、生産機械工学の教育と研究に従事し、高潔円満な人格と豊富にして卓越した知識により多数の優秀な学生を実社会に送り出した。一方、同44年7月から同46年6月まで附属図書館工学部分館長としてその管理運営に貢献、また、同38年に新設された生産機械工学科の施設設備及び教官陣容の充実等学科の教育研究体制の確立と向上に尽力し、学科主任としての重責も果たした。学外においては、日本溶接学会北陸支部長、日本金属学会評議員、同北陸支部理事を務め、学術振興に寄与した。また、金属材料の超遡性に関する基礎的研究で最近世界各国の学界で研究成果が認められ、その功績は極めて顕著である。

叙 位 ・ 叙 勲

昭和52年8月13日逝去された工学部教授山田正夫氏に対し、生前の功績により9月6日付で、正四位勲三等瑞宝章が授与された。

職 員 消 息

〈新任者〉

人文学部・理学部事務部

用度係長 田中 祥男

教育学部

助 教 授 渡辺 一郎

講 師 山下 三郎

工学部

事務補佐員 有澤 伸子

和漢薬研究所

文部技官 長澤 哲郎

〈住所変更〉

事務局

文部事務官 牧野 秀應

経済学部

文部事務官 樋口 泰弘

薬学部

助 手 高島 廣紀

工学部

助 教 授 杉本 益規

助 手 石原 外美

教養部

講 師 中村 哲夫

” 伊里 松俊

主 要 日 誌

本 部

8月1～2日 東海北陸地区臨時施設部課長会議(於 名古屋工事事務所)

3日 第4回富山大学公務員宿舍委員会

4～5日 第15回全国大学保健管理研究集会東海北陸地方部会(於 名古屋郵便貯金会館)

- 8日 富山大学レクリエーション委員会
- 19日 給与勧告説明会 (於 名古屋国税局)
- 26日 第5回富山大学公務員宿舎委員会
- 29日 国立大学協会第3・第4常置委員会合同会議
(於 東京大学社会科学研究所)
- 9月1～2日 第12回東海北陸地区国立大学事務局長会議
(於 富山大学)
- 4日 昭和52年度学内釣大会
- 5日 補助金事務の簡素合理化に関する調査
- 5～6日 10大学経理部長会議 (於 三重大学)
- 13日 第3回入学試験管理委員会
第1回共通第1次学力試験(試行)実施委員会
北陸地区共済組合事務打合せ (於 富山大学)
- 16日 第1回大学院委員会
構内交通対策委員会
- 21日 昭和52年度全国公務員レクリエーション共同事業富山地区ソフトボール大会
- 26日 昭和52年度災害補償制度説明会 (於 名古屋合同庁舎)
- 27日 東海北陸地区国立大学事務局長懇話会 (於 静岡大学)
- 27～28日 第29回東海北陸地区国立大学長会議 (於 静岡大学)
- 27～29日 昭和52年度東海北陸地区国立学校等係長研修 (於 静岡大学)
- 29日 長期給付実務研修会 (於 金沢共済会館)
- 29～30日 昭和52年度東海北陸地区国立大学厚生課長会議 (於 三重大学)
- 30日 第7回評議会

文 理 学 部

- 9月5日 授業開始
- 20日 教授会

人 文 学 部

- 9月7日 教授会
- 17～18日 秋季一泊レクリエーション (鬼岩温泉と秋の木曾路)
- 20日 カリキュラム委員会
- 21日 人事教授会
- 26日 胃の集団検診

教 育 学 部

- 8月27～28日 呉山会レクリエーション (芦原温泉)
- 29日 附属小学校第2学期始業式
- 30日 附属中学校第2学期始業式
- 9月1日 附属養護学校第2学期始業式
附属幼稚園第2学期始業式
- 4～5日 附属中学校学校祭
- 5日 図書委員会
北陸地区教員養成学部事務長協議会 (於 新潟大学教育学部高田分校)
- 7日 教授会
教務委員会
- 8日 紀要編集委員会
教育実習開始
- 9日 大学院設置検討委員会
- 14日 人事教授会
- 16～17日 日本教育大学協会北陸地区第二部会保健体育科学研究協議会 (於 金沢大学)
- 21日 教務委員会
教務・補導合同委員会
補導委員会
- 22日 教授会
- 27日 胃の検診
- 29～30日 昭和52年度秋季全国国立大学教育学部長会議 (於 山口大学)

経 済 学 部

- 9月1日 授業開始
- 3～4日 秋季レクリエーション (赤倉温泉)
- 5日 学部財務委員会
- 6日 第6回人事教授会
第2回学部図書委員会
- 7日 第8回教務委員会
第6回教授会
- 12～22日 前学期末試験
- 16日 第3回学部図書委員会
- 21日 第2回学部職業補導委員会
- 27日 胃の集団検診
- 28日 第7回人事教授会
第7回教授会

理 学 部

- 8月8日 人事教授会
 30日 学部図書委員会
 9月2日 学部図書委員会
 5日 補助金事務の簡素合理化に関する調査
 8日 人事教授会
 14日 学部施設委員会
 17~18日 秋季一泊レクリエーション(鬼岩温泉と秋
 の木曾路)
 20日 立山研究室閉鎖
 28日 教授会
 人事教授会

薬 学 部

- 8月17日 合同教官会議(於 富山医科薬科大学)
 18日 教務委員会
 29日 予算委員会
 31日 薬学研究科委員会
 9月1日 授業開始
 合同図書委員会
 10日 日本薬学会北陸支部幹事会
 12日 教務委員会
 14日 教授会
 薬学研究科委員会
 17日 動物慰霊祭
 21日 合同教官会議
 29日 教授会
 薬学研究科委員会

工 学 部

- 8月3日 紀要委員会
 20~26日 大学院工学研究科入学願書受付
 24日 工学研究科委員会
 学部図書委員会
 31日 教授会
 専任教授会
 次期工学部長候補者選挙
 9月1日 前学期授業再開
 2日 X線マイクロアナライザー運営委員会
 教員選考委員会
 6日~7日 大学院工学研究科入学試験

- 7日 教授会
 専任教授会
 工学研究科委員会
 14日 工学研究科委員会
 学部図書委員会
 工学部構内交通対策委員会
 16日 大学院工学研究科入学試験合格者発表
 21日 教授会
 27日 前学期授業終了
 27~28日 北陸信越地区工学部長会議(於 信州大学
 工学部)
 28日 胃の集団検診

教 養 部

- 8月17日 教授のみの教授会
 29日 教務委員会
 30~31日 第13回12大学教養部事務長会議
 9月1日 授業開始
 7日 教授会
 教授のみの教授会
 10~11日 親和会レクリエーション(山中温泉)
 26日 胃の集団検診
 30日 補導委員会

和 漢 薬 研 究 所

- 8月9日 第8回教授会
 31日 薬学研究科委員会
 教授懇談会
 9月1日 薬学部・研究所合同図書委員会
 2~3日 第8回東海北陸地区研究所事務協議会
 10日11日 第11回和漢薬シンポジウム(於 岐阜薬科
 大学)
 12日 和漢薬研究所セミナー
 講師 クレメント・エル・マーカート
 (エール大学生物学部教授)
 13日 第9回教授会
 14日 薬学研究科委員会
 17日 動物慰霊祭
 26日 胃の集団検診
 27日 第10回教授会
 29日 薬学研究科委員会

附属図書館

- 8月19日 富山県図書館協会大学・高専部会研究集会（於
富山大学）
20～21日 職員レクリエーション（和倉温泉）
30日 自然科学系の図書委員長会議
9月5日 自然科学系の図書委員長会議
15日 富山県図書館協会バレーボール大会（於 五福
小学校）
27日 事務打合せ会
29日 胃の集団検査

経営短期大学部

- 8月2日 第9回教授会
3～4日 職員レクリエーション（赤倉温泉）
5日 授業開始
6日 第10回教授会
12～17日 前学期末試験
27日 第11回教授会

編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 第一共同印刷株式会社
富山市太郎丸1220-2
電話 ㊦ 0196代